



# 東京多摩交響楽団 ふれあいコンサート

オーケストラの素晴らしさと音楽の楽しさを身近で感じよう！

東京多摩交響楽団（新田敏則代表）のふれあいコンサートは6月21日、葛巻小体育館で開催され、町内の保育園児や小中学生ら約300人が迫力ある豊かなハーモニイを楽しみました。子どもたちは、ルロイ・アンダーソンの「そりすべり」など全9曲を鑑賞。身を乗り出しながら聴き入り聞いたことがある曲が演奏されると、友だちと静かに顔を見合わせ笑顔を交わしていました。

曲の合間には楽器の紹介や指揮体験コーナーが設けられ、おもちゃの笛が楽器としてハーモニイに加わることができたりやタクト（指揮棒）の振り方でリズムが変わることを体感しました。ペーターベンの「運命」の指揮を体験した千葉聡太さん（小屋瀬中3年）は「実際に体験すると圧巻でした」と満足げな表情を浮かべていました。



① 迫力ある豊かなハーモニイを演奏する多摩交響楽団の皆さん ② 指揮体験をする山本大稀さん（五日市小6年） ③ 新田敏則代表に花束を渡す遠藤朝陽さん

## 消防救助技術大会

### 県1位で全国大会出場へ



三人一組で行う「ほぶく救出の部」で盛岡地区広域消防組合の代表の一人に選ばれ、全国を目指す葛巻分署の山下勇太郎消防士。強靱な体力と繊細さが求められる競技のため、日々、トレーニングに励んでいます。

7月3日、岩手県消防学校（矢巾町）で開催された第43回消防救助技術岩手県大会に葛巻分署の山下勇太郎消防士（20歳、四日市）が「ほぶく救出の部」（参加21チーム）に出場し、見事1位に輝きました。

これにより8月25日に岡山県で開催される第48回全国消防救助技術大会への出場が決定しました。遠藤和男分署長は、並み居るベテラン勢を抑えてつかみ取った初出場での勝利に「全国大会は分署員にとって夢であり憧れの場所。ミスが許されないのは、現場の緊張感と同じ。ベストを尽くして頑張っつてほしい」とエール。分署員一丸となって、若き挑戦者を全力でサポートしています。



全国消防救助技術大会への出場を決めた山下勇太郎さん(中央)と全力でサポートする葛巻分署の皆さん



## 高校野球ドリームマッチ プレー支える中学生が大活躍



① 第2試合の始球式を務めた向川原煌さん ② 緊張した面持ちで整列する試合開始直前 ③ 丁寧に整えられるマウンド ④ 心を込めてボールの汚れを落とす中学生

高校野球ドリームマッチは6月30日、町総合運動公園野球場で開催され、盛岡大学附属高校と青森山田高校、秋田商業高校の3校が熱戦を繰り広げました。各試合の始めに始球式が行われ、辰柳玲斗さん（江川中3年）と向川原煌さん（葛巻中2年）、恵津森大貴さん（江川中2年）の3人が試合のオープニングを飾りました。マウンドに上がった生徒たちは、少し緊張しながらも堂々とプレー。「迫力があった」「雰囲気やすごかった」と存在感に圧倒されたようでした。

この日は、合計3試合が行われ、甲子園さながらの攻防に観衆のどよめきが沸き起こりました。